

宮古市 キャトル跡地利活用 ワークショップ Day 1

キャトルでの体験・あなたにとってキャトルは？

キャトルの役割



予定まで
コインゲーム
時間つぶし

色々な店

清彩
ホーノの木

靴屋

バッシュ利用者の
思い出



階段で話す
カップル

家族の買い物



みんなの
青春



雨やどり



藤田屋さん



でも値段は500円以上



他の店も高価

ペットショップあつた!!



ギンガマジョー!!



時間をつぶせる場



市根としての業前



生活の拠点



おさんぽコース
だった



高校生

階段は
騒がれる場所

便利な場

ペットショップ
雑貨
食品
ゲーム
美容室

車の人にとって神



行けば
誰か会える!!



宮古市 キャトル跡地利活用 ワークショップ Day 1

おっけて見て得た気づき

Bグループ

魚屋
肉屋
コンビニ

上から見ると
住宅地

平日も人多い

学生 家族
観光客 高齢者

150m x 70mの広さ

思い出を
語る場



バス待ちの人
もいた



屋上気持いい

色んな
景色が
見える



残った

Cグループ

図書館
交番
郵便局

意外と
高齢者少ない!!

高校生
多い

キャトル → 萩町



にぎわいも 移動

人がない
建物



廃れちゃう

Dグループ

コンテンツが
豊富に多い

部活帰りの
高校生

イベントで
高齢者
少ない

思い出の
話おた場

「ハル」で
日常の場



屋上から
海まで見える



屋根がある
人まじり場



Aグループ

たしかに意外とよかったです



駅前に
観光客



車が多い
→ もっと歩いて
見てほしい

まちの中心地
感じた



山が川
きれい

ビアガーデン
またしたい!!!



宮古市 キャトル跡地利活用 ワークショップ Day 1

プレイスXイキングの紹介



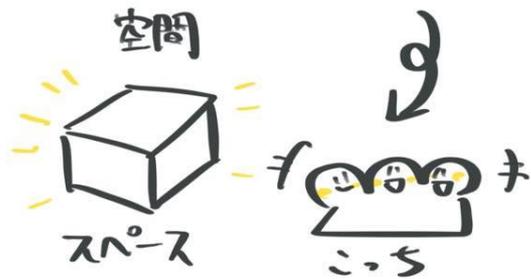
まちコミュニティに
生き活きた公共空間



まちも活気く

- ① プロセスXイキングの必要性 (Why)
- ② 創出された豊かな日常のシーン (What)
- ③ 受け皿となる公共空間のイメージ (How)

人がいる場 = プレイス



プレイス



人々の暮らし



強^いまちに

空間としてのスペースではなく

人々の居場所「プレイス」が大事

どんどん
アイデアを
出して
いっしょに
いきましょう!



スマホ



タブレット



WORKSHOP LAND代表
相内洋輔